

JBL

by HARMAN

FREE

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- | | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |

警告

-
-
-
-
-
-
-
-

注意

-
-

Bluetooth

- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

電池についてのご注意

- 液が漏れたとき
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
 - 液が目に入ったとき
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
 - 液が体や衣服についたとき
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

- 電池について以下のご注意。
本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
 - 火の中に入れてたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
 - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発生したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
 - 電子レンジや高圧容器に入れてください。
 - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - 所定の時間を超過しても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
 - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなる場合があります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

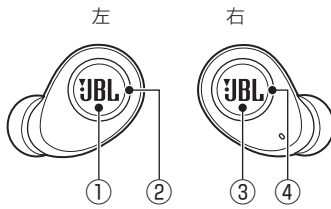
付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- 充電ケース
- イヤチップ(Sサイズ/Mサイズ/Lサイズ)(Mサイズ装着済み)
- ソフトカバー (Mサイズ/Lサイズ)
- 充電用ケーブル
- 日本語取扱説明書 (本紙)
- 多言語取扱説明書
- 保証書 (日本国内用)

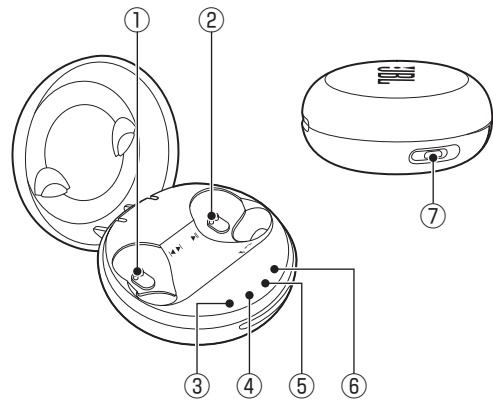
各部の名称

▶ イヤピース



- ① 左イヤピースボタン
音楽再生中に押すと、次の曲や曲の先頭にスキップします。
- ② ステータスインジケータ
充電中/Bluetooth接続中などの状態を示します。
- ③ 右イヤピースボタン
音楽再生中に1回押すごとに一時停止/再生開始します。
電話着信時に1回押すと、電話を受けます。通話中に1回押すと、電話を切ります。
- ④ ステータスインジケータ
充電中/Bluetooth接続中などの状態を示します。

▶ 充電ケース

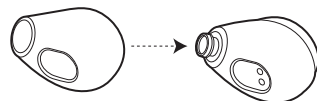


- ① 左イヤピース充電部
- ② 右イヤピース充電部
- ③ LEDインジケータ 1
- ④ LEDインジケータ 2
- ⑤ LEDインジケータ 3
- ⑥ LEDインジケータ 4
- ⑦ USB端子

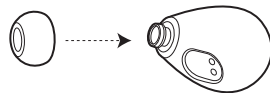
イヤチップ / ソフトカバーを選ぶ

本機には3種類（Sサイズ/Mサイズ/Lサイズ）のイヤチップと2種類（Mサイズ/Lサイズ）のソフトカバーが付属しています。フィット感に応じてそれぞれのサイズを選んでください。（あらかじめMサイズのイヤチップが装着されています。）

- ① 好みのサイズのソフトカバーを装着する。

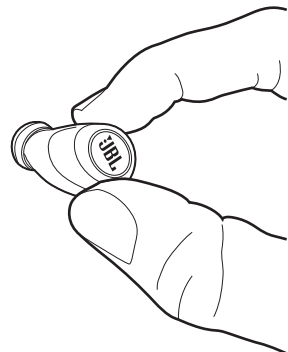


- ② 好みのサイズのイヤチップを装着する。



▶ 耳に装着するときのご注意

イヤピースを耳に装着するときは、左右のイヤピースのボタンには指を当てないようにしてください。イヤピースのボタンを押すと、Bluetooth接続が解除されるなど誤動作の原因になる場合があります。

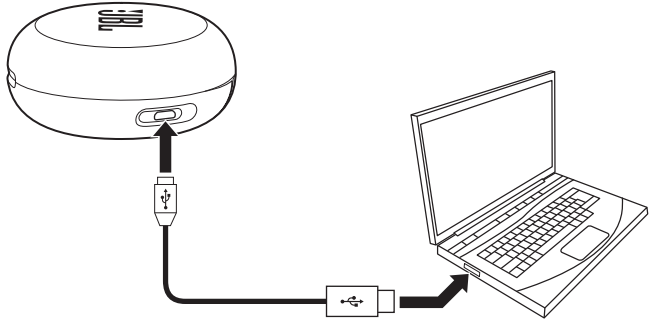


充電する

▶ 充電ケースを充電する

付属の充電用ケーブルを使って充電します。

付属の充電用ケーブルを本機の USB 端子と PC の USB 端子に接続します。



※ 電源コンセントから充電する場合は、市販の USB 対応 AC アダプタをお使いください。

充電が進むことに充電ケースの LED インジケータが次々と点灯していきます。(一番右のインジケータは点滅します。) 満充電になると、一番右の点滅が点灯となり、4 つ点灯状態になります。充電が完了したら、充電用ケーブルをはずしてください。

内蔵電池残量について

イヤピースを充電部に載せると、内蔵電池の残量によって以下のように LED インジケータが点灯します。

充電量	点灯する LED インジケータ
25% 未満	LED インジケータ 1
25 ~ 50%	LED インジケータ 1、2
51 ~ 75%	LED インジケータ 1、2、3
76 ~ 100%	LED インジケータ 1、2、3、4

LED インジケータは、そのまま放置すると自動的に消灯します。

▶ イヤピース本体を充電する

左右のイヤピースを、充電ケースの充電部に載せます。軽く載せるだけで、マグネットによりしっかり固定されます。

イヤピースの電源が入っていた場合やお使いのデバイスと Bluetooth で接続されていた場合でも、自動的に電源がオフになり Bluetooth 接続が解除されて充電が始まります。充電時間は約 2 時間*です。

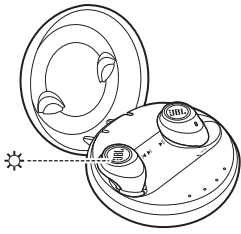
※ 充電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

急速充電について

本機の急速充電機能により、15 分充電するだけで最大 1 時間の使用が可能です。

充電中は、左右のイヤピースのステータスインジケータが白く点灯します。充電が完了するとインジケータが消灯します。

※ 充電ケースを充電しながらイヤピースを充電することもできます。その場合、充電ケースが満充電になるまでの時間が長くなります。



Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生やハンズフリー通話を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

【初回接続時】

- 右のイヤピースを充電ケースから取り出す。
ステータスインジケータが青色と白色で交互に点滅し、ペアリングモードになります。(耳に装着した場合、電子音が聞こえます。)
- デバイス側でペアリング操作 (下記参照) を行い、登録 / 接続する。
ステータスインジケータが青色でゆっくり点滅します。
- 左のイヤピースを充電ケースから取り出す。
左右のイヤピースが自動的に接続され、左のイヤピースのステータスインジケータも青色でゆっくり点滅します。



- 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
- 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も併せてご覧ください。

その他のデバイス (携帯電話・スマートホンなど) の場合 :

- ペアリング設定状態にする。
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)

【2 回目以降の接続時】

Bluetooth 対応デバイスをペアリング設定状態にしたら、左右のイヤピースを充電ケースから取り出してしばらく待つと、ペアリングが自動的に完了し、ステータスインジケータが青色でゆっくり点滅します。自動的に接続しない場合は、右イヤピースのボタンを 5 秒以上押し続けてください。

【別のデバイスと Bluetooth 接続する】

別のデバイスと Bluetooth 接続するときは、まず現在ペアリング中のデバイスの Bluetooth 接続を解除します。続いて、本機がペアリング設定状態になるまで右イヤピースのボタンを長押しし、「ペアリングを行う」の手順にしたがって操作してください。

ご注意

- Bluetooth は約 10m までの距離で接続できますが、障害物 (人体、金属、壁など) や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- 複数の Bluetooth 電波がある場所では干渉により左右の接続が一時的に切れることがあります。
- 以下の場合、Bluetooth 接続に障害を起こす場合があります。このような場合、再生や通話が途切れることがあります。使用環境を変えてご使用ください。
 - 無線 LAN が構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所などで使う場合

基本操作

▶ 音楽再生 / 曲の操作

目的	操作
一時停止する / 再生開始する。	右イヤピースのボタンを 1 回押す。
次の曲にスキップする。	左イヤピースのボタンを 1 回押す。
曲の頭に戻る。	左イヤピースのボタンを 2 回続けて押す。

▶ 通話

目的	操作
着信した電話を受ける。	右イヤピースのボタンを 1 回押す。
通話を切る。	右イヤピースのボタンを 1 回押す。

※ 音楽再生中に通話を開始すると、自動的に右イヤピースのみから音声はモノラルで聞こえます。通話を終了すると左右のイヤピースからのステレオ再生に戻ります。

▶ 電源のオン・オフ

目的	操作
左右のイヤピースの電源をオン・オフする。	電源のオン・オフをしたいイヤピースのボタンを、電子音が聞こえるまで 5 秒以上押し続ける。 なお、右イヤピースのボタンを 5 秒以上長押しして電源をオフにすると左右のイヤピースとも電源オフになります。次に右イヤピースの電源をオンにすると、右イヤピースからだけ音楽が聞こえます。左イヤピースの電源をオンにすると、左イヤピースからも音楽が聞こえるようになります。

音声アシスタント機能を使う

本機を操作して、お使いのデバイスの Siri または Google Now をアクティブ化することができます。

- 右イヤピースのボタンを 2 回続けて押す。

トラブルシューティング

症状	解決法
イヤピースの電源が入らない。	イヤピースが充電されているかご確認ください。
イヤピースを充電できない。	充電ケースが充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。 Bluetooth デバイスの音量をご確認ください。 Bluetooth デバイス側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりがすぎている場合は音量を下げてください。

主な仕様

タイプ	密閉ダイナミック型 (カナル) Bluetooth ワイヤレス
周波数特性	10Hz - 22kHz
Bluetooth	バージョン : Bluetooth4.2
伝送範囲	Class 2、通信距離約 10m (障害がない場合)
対応プロファイル	A2DP V1.3、AVRCP V1.6、HFP V1.6、HSP V1.2
入力	Bluetooth
イヤピース電池	リチウムイオン電池 (充電式)
イヤピース充電時間	約 2 時間
イヤピース連続使用時間	音楽再生 : 約 4 時間
充電ケース (イヤピースへの充電時間)	最大 20 時間
重量	イヤピース (左右) : 約 15g 充電ケース : 約 84g

※ ・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。また充電・再生時間は使用環境により異なります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたり、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

※ 電池を保護するため、半年に一度は充電することをおすすめします。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ 本機の廃棄について



本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。
本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒には廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。
携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2017 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.